学校番号	３２３

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　新地理総合　（帝国書院） 新詳高等地図　（帝国書院）						
副教材等	図説地理資料　世界の諸地域ＮＯＷ　２０２６　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の地形や気候といった基礎的な内容を理解し、地誌を通じて諸地域の自然環境、産業、文化などを学び、視野を世界に広げる。さらに、地図の読み取りなどの作業を通して、国や地域の位置関係を理解する。

また、世界の諸地域の文化に関する映像や画像を通して、地理に関する関心を高め、世界の諸地域の諸現象を空間的に理解し、因果関係を捉えられるよう習慣づける。

２　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。また、地図や地理情報システム（ＧＩＳ）などを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地図と地理情報システム	1節　地球上の位置と時差 1　地球上の位置と私たちの生活 2　時差と私たちの生活 2節　地図の役割と種類 1　地球儀と地図 2　身の回りの地図 3　統計地図の種類と利用 4　地理情報システム(GIS)の活用	a: 読図や映像を通して諸地域の特徴や差異を空間的に捉えることができる。日本の領土について正しく理解をする。 b:ＧＩＳを利用して様々な解決方法を考え、地域の課題を見つけ、表現することできる。 c:課題に対して粘り強く取り組み、地域の課題を正しく考察できる。	定期考査	定期考査・レポート課題	振り返りシート・レポート課題
	結び付きを深める現代世界	1節　現代世界の国家と領域 1　現代世界の国家 2　日本の位置や領域 2節　グローバル化する世界 1　国家間の結び付き 2　貿易によって結び付く世界 3　さまざまな交通網の発達 4　世界を結ぶ通信網の発達 5　観光のグローバル化	a:暮らしを支える貿易、通信技術の発達、交通の発達などによる国際分業の成立、人や物の移動を理解している。 b: データや図を読み取り、多面的・多角的に考察している。 c:課題に対して粘り強く取り組み、グローバル化による諸課題を考察しようとすることができる。	定期考査	定期考査・	振り返りシート・レポート課題

	生活文化の多様性と国際理解	1節　世界の地形と人々の生活 1 大地形と人々の生活 2 変動帯と人々の生活 3 安定地域と人々の生活 4 河川がつくる地形と生活 5 海岸の地形と人々の生活 6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 2節　世界の気候と人々の生活 1 気温・降水と人々の生活 2 大気大循環と人々の生活 3 世界の植生と気候区分 4～7 各気候帯の生活 3節　世界の言語・宗教と人々の生活 4節　歴史的背景と人々の生活	a: 地球上の地帯構造と、日本の小地形について理解する。緯度・経度、時差について意味を理解し、計算方法を身につける。 b: 白地図作業を行い、世界の地帯構造を読み取ることができる。ハイサーグラフと雨温図の作図や読み取りを行うことができる。 c:学習した地形や気候が、身近にどのような地域で見られるのかを調べ、自身の生活と結び付けて考えることができる。	定期考査	定期考査・レポート課題・小テスト	振り返りシート・レポート課題

2	世界各地の生活文化	追究事例　宗教１ 　イスラームと人々の生活の関わり　－中央アジア・西アジア・北アフリカ－ 追究事例　宗教２ 　ヒンドゥー教と人々の生活の関わり　－インド－ 追究事例　歴史1 　移民の歴史と人々の生活の関わり　－ラテンアメリカ－ 追究事例　歴史２ 　植民地支配の歴史と人々の生活の関わり　－サハラ以南アフリカ－ 追究事例　歴史３ 　国家体制の変化と人々の生活の関わり　－ロシア－ 追究事例　産業１ 　産業力が世界の生活文化に与える影響　－アメリカ合衆国－ 追究事例　産業２ 　経済成長による人々の生活の変化　－東アジア－ 追究事例　産業３ 　地域統合が人々の生活や産業に与える影響　－ヨーロッパ－	a：世界各地の地誌に関心を持ち、その地域で暮らす人々の生活の特色、環境問題や人口問題など諸課題を理解している。 a：世界各地の位置関係をとらえ、地域ごとの生活文化を理解している。また、それぞれの地域的な結びつきを踏まえ、関係性や共通事項を見い出したり、地域的な特殊性を見出すことができる。 a：白地図作業を行い、地形や国、都市の位置関係を把握し理解を深める。 b：資料やグラフから、各地域の現状や課題を把握し、文章化することができる。 c：地域の特色を把握しようとするだけでなく、地域ごとの課題をとらえ、近年の動向や今後の展望、方向性を予想したり、見出そうとすることができる。	定期考査	定期考査・レポート課題	振り返りシート・レポート課題

3	地球的課題と国際協力	1 節　複雑に絡み合う地球的課題 1　相互に関連する地球的課題とその解決に向けて 2 節　地球環境問題 1　多様な地球環境問題 2　熱帯林の破壊への対策 3　地球温暖化への対策 3 節　資源･エネルギー問題 1　世界のエネルギー･鉱産資源 2　エネルギー利用の現状と課題 4 節　人口問題 1　世界の人口 2　発展途上国と先進国の人口問題 3　地域で異なる人口問題への取り組み 5 節　食料問題 6 節　都市･居住問題	a:地球上の諸問題や地域特有の諸問題を、鳥瞰的に整理し、理解しようとしている。エネルギーや食糧などの問題において、地球上のアンバランスを理解している。 b: 資料やグラフから、地球上の諸問題を把握することができる。 b: 地球上の諸問題を学んだうえで、自分自身が社会にどう参画していくかを考え、表現することができる。 c:地球上の諸問題を把握するだけでなく、近年の動向や今後の展望、方向性を予想したり、見出そうとすることができる。また、自分にできることを考え、まとめることができる。	定期考査	定期考査・レポート課題	振り返りシート・レポート課題
	自然環境と防災	1 節　日本の自然環境 1　日本の地形 2　日本の気候 2 節　地震･津波と防災 1　地震･津波による災害 2　地震･津波の被災地の取り組み 3 節　火山災害と防災 1　火山の恵みと災害 2　火山と共生する地域の取り組み 4 節　気象災害と防災 1　さまざまな気象災害 5 節　自然災害への備え 1　減災の取り組み 2　被災地への支援	a:地体構造などを諸外国と比較することで、日本列島の自然災害の多さや、防災の必要性を理解している。 b:防災のあり方や心構えを考え、まとめることができる。 c:今後の生活のあり方、災害との付き合い方を考え、まとめることができる。	定期考査	定期考査・レポート課題	振り返りシート・レポート課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度